

都市再生整備計画 事後評価シート
小峰城下町地区

令和 6 年 3 月

福島県白河市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	白河市		地区名	小峰城下町地区			面積	189		
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	783	国費率	0.464				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	高質空間形成施設:(市)城山線整備事業、既存建造物活用事業:まちおこしセンター整備事業、街なみ環境整備事業:旧小峰城太鼓櫓等整備事業、歴史的風致形成建造物保存修景事業、歴史的まちなみ修景事業、景観まちづくり支援事業									
			提案事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	高質空間形成施設:市道本町北裏線等整備事業、地域生活基盤施設:小峰城外堀土塁周辺整備事業	市道本町北裏線等整備事業と小峰城外堀土塁周辺整備事業を一体的に整備する計画であったが、小峰城外堀土塁の所有者の同意が得られなかったため。	影響なし							
			提案事業										
	新たに追加した事業		提案事業	事業活用調査:親工場跡地活用調査、地域創造支援事業:まちなか回遊コンテンツ創出事業、新たな地域資源調査活用事業、公共駐車場活用事業	事業活用調査においては、計画区域の新たな賑わいの創出とまちなかの回遊拠点となる利活用調査を行い、まちなかの魅力向上を図るため。地域創造支援事業においては、基幹事業であるまちおこしセンターの効果を高めるため。	影響なし							
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	平日歩行者通行量	人/日	2,107	H28	2,370	R4	モニタリング	2,094	△	あり ○ なし	(市)城山線とまちおこしセンターの整備完了がR4年度末であったため、その効果がまちなかの回遊性の増加に直接繋がらなかった。	
	指標2	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)利用者数	人/月	10,791	H28	11,141	R4	モニタリング	12,288	○	あり なし	歴史的風致形成建造物保存修景事業と歴史的まちなみ修景事業の実施により、中心市街地市民交流センター周辺に歴史的建造物が修景されたため、まち歩きイベントや景観学習の行事で当施設を活用する契機となり、利用者数の増加に繋がった。	
	指標3	小峰城三重櫓観光客入れ込み数	人/年	85,600	H28	92,400	R4	モニタリング	64,191	△	あり ○ なし	コロナ禍により城内への入場制限や(市)城山線とまちおこしセンターの整備完了がR4年度末であったため、その効果が小峰城三重櫓観光客入れ込み数の増加に直接繋がらなかった。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(市)城山線の整備により、小峰城三重櫓がある城山公園や旧小峰城太鼓櫓へのアクセスとまちなかの回遊性向上に寄与した。 ・まちおこしセンターの整備により、まちなか交流の充実と賑わいの創出に寄与した。 ・旧小峰城太鼓櫓の整備や歴史的風致形成建造物などの保存修景により、本市の歴史的風致の維持向上とまちなかの回遊性向上に寄与した。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	・中心市街地に関する意向調査を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●					
持続的なまちづくり体制の構築	白河市中心市街地活性化協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						

様式2-2 地区の概要

小峰城下町地区(福島県白河市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:当該区域は、第2期白河市中心市街地活性化基本計画に定める計画区域、白河市歴史的風致維持向上計画に定める重点区域、都市再生整備計画「白河市中心市街地地区」(平成25年3月提出)に定める計画区域を含むため、これらに基づく事業を総合的かつ一体的に展開することで、歴史的風致の有効な活用と市民のまちづくりに対する積極的な関与を促されることに加え、国道294号バイパスを中心とした城下町地区を集中的に整備することで、街なかの賑わい創出を図る。 (目標 1)「城下町白河」の個性的な歴史的・文化的資源に磨きをかけ、交流人口の拡大を図る。 (目標 2)当該地区内の回遊性を高めるために、歴史的風致形成建造物や回遊拠点となる施設の充実を図るとともに、良質な都市景観を形成することにより、地域の魅力向上を図る。 (目標 3)当該地区への滞留性を高めるために、歩行系ネットワークの形成とともに交流広場等の整備・拡充により賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図る。	平日歩行者通行量	単位:人/日	2,107 H28	2,370 R4	2,094 R4
	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)利用者数	単位:人/月	10,791 H28	11,141 R4	12,288 R4
	小峰城三重櫓観光客入れ込み数	単位:人/年	85,600 H28	92,400 R4	64,191 R4

■基幹事業:既存建造物活用事業
 まちおこしセンター整備
 改修工事 A=289.63㎡ 木造 地上2階建



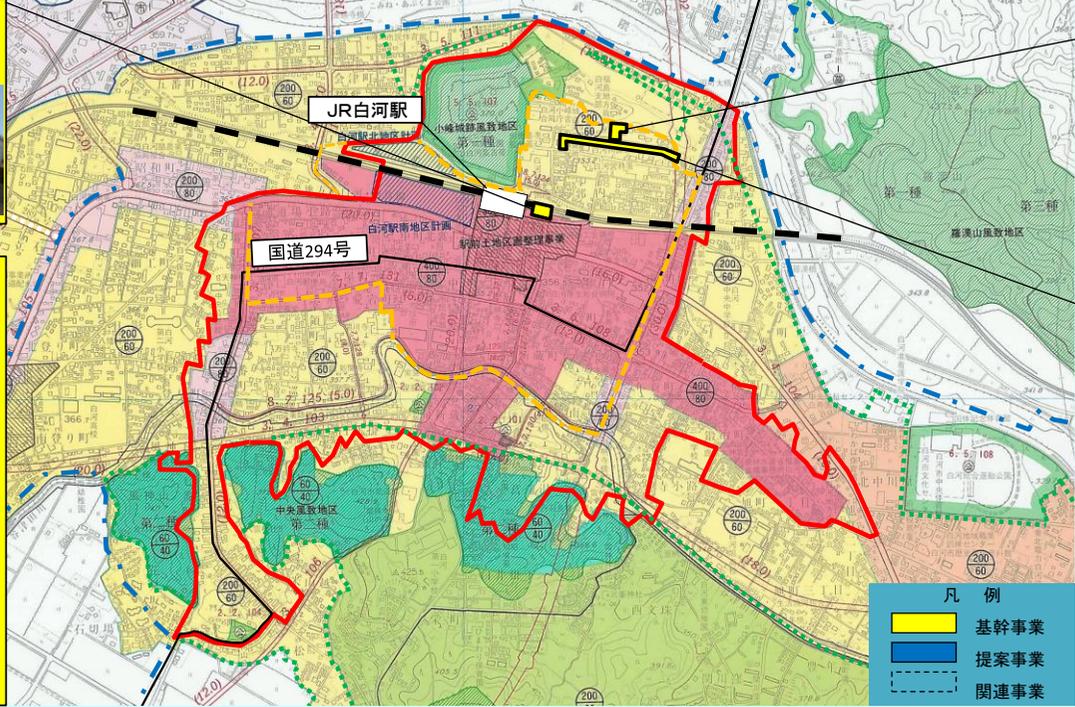
■提案事業地域創造支援事業
 まちなか回遊コンテンツ創出事業

I 白河ラーメンデータベース

II ミニチュア動画

III まち歩きマップ

IV ジオラマ(中心市街地)

■基幹事業:街なみ環境整備事業
 旧小峰城太鼓櫓等整備
 歴史的風致形成建造物 修復 A=26.11㎡



■基幹事業:高質空間形成施設
 (市)城山線整備事業
 改良・景観舗装工 L=376.8m



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・(市)城山線の整備により、本市の歴史的観光資源である小峰城三重櫓までのアクセスが改善されたとともに、周辺の歩行環境やまちなかへの回遊性の向上が図られた。 ・本市の魅力を情報発信する拠点なるまちおこしセンターの整備により、新たな賑わいの創出やまちなかの滞留時間の増加が図られた。 ・市指定の重要文化財である旧小峰城太鼓櫓の整備により、交流拠点の充実が図れ、新たな賑わいが創出された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した交流拠点や回遊拠点のさらなる利用促進により、継続的な賑わいの創出を図っていく。 ・歴史的風致建造物の有効活用や城下町の良好な景観形成、高質な街路整備、歩行環境の拡大により、まちなかの回遊性向上を目指す。 ・中心市街地の交流拠点の活用促進、機能拡充とあわせて、商店街やまちづくり会社などと連携し、回遊性の向上に取り組むことで、中心市街地全体の賑わい創出を目指す。